



## 概要

- 機能 (1 ページ)
- パッケージの内容 (3 ページ)
- シリアル番号の場所 (3 ページ)
- 前面パネル (3 ページ)
- 前面パネル LED (5 ページ)
- 背面パネル (6 ページ)
- 電源モジュール (6 ページ)
- ハードウェア仕様 (6 ページ)
- 製品 ID 番号 (7 ページ)

## 機能

Cisco<sup>®</sup> Provider Connectivity Assurance Sensor LX-S (旧 Accedian Skylight LX-S Performance Element) は、超低遅延の packets 転送とジッター機能を備えたコンパクトな 1 および 10 ギガビットイーサネット (1/10GE) プラットフォームです。Assurance Sensor LX-S は、MEF タイプのサービスアシュアランスを必要とする高可用性アプリケーション向けに設計されており、スケーラブルなサービス提供とパフォーマンスモニタリングのために最適化されています。また、モバイルバックホールやビジネスイーサネットアプリケーション用のスペースに制約がある環境での展開に最適な設計になっています。

LX-S は、単一の小さなフットプリントでレイヤ 2 およびレイヤ 3 サービスを確立、検証、およびモニターするためのすべてのツールを提供します。光リニアまたはリングトポロジを介して復元力のあるサービスを提供する場合、スイッチおよびルータに対する柔軟でスケーラブルな代替手段です。ゼロタッチプロビジョニングと IPv4/IPv6 管理のサポートにより、LX-S の展開、管理、および保護が容易になります。

Cisco Provider Connectivity Assurance プラットフォームと完全に統合された LX-S は、サービス提供の自動化、スケーラブルなメトリック収集、およびレポート作成をサポートします。また、実用的インサイトの提供と機械学習により、サービスの展開を加速し、業務効率を向上させます。

図 1: Assurance Sensor LX-S



次の表に、Assurance Sensor LX-S の機能を示します。

表 1: Assurance Sensor LX-S の機能

機能	説明
フォーム ファクタ	1 RU
ラック マウント	標準の 48.3 cm (19 インチ) または 58.42 cm (23 インチ) ラック
エアフロー	前面から背面
管理ポート	内蔵 RJ-45 コネクタ (10M/100M/1GbE) X 1
トラフィック ポート	SFP+ コネクタ (1G/10GbE) X 4
コンソール ポート	RJ-45 コネクタ (RS-232) X 1
ドライ接点入力	RJ-45 コネクタ X 1 (ドライ接点 X 4)
ファン	前後冷却ファン X 2

次の表に、Assurance Sensor LX-S の規制および標準コンプライアンス機能を示します。

表 2: 規制および標準コンプライアンス (モデル: NODE2c)

機能	説明
安全性	IEC 62368-1、EN IEC 62368-1、AS/NZS 62368.1、CSA/UL 62368-1、GB 4943.1、J62368-1、SASO- IEC 62368-1

機能	説明
EMC : エミッション (クラス A)	CISPR 32、EN 55032、FCC 47 CFR Part 15 Subpart B、ICES-003、AS/NZS CISPR 32、VCCI-CISPR 32、KN32
EMC イミュニティ	EN 55035、KN35
Telco	NEBS レベル 3 : GR-63、GR-1089
環境	RoHS : IEC 63000、EN IEC 63000

## パッケージの内容

Assurance Sensor LX-S のパッケージ内容は次のとおりです。

- Assurance Sensor LX-S (1)
- ゴム製の脚 (4)
- Cisco Provider Connectivity Assurance Sensor LX-S

このドキュメントには、ハードウェア設置ガイド、法規制の順守と安全に関する情報ガイド、保証、およびライセンスのページを示す URL と、Management Center のドキュメンテーションポータルを示す QR コードが含まれています。



(注) パッケージには、他の注文オプションを含めることができます。

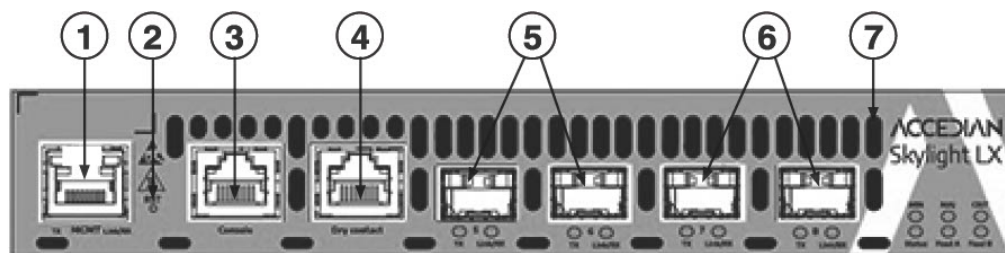
## シリアル番号の場所

シリアル番号 (SN) と Media Access Control (MAC) アドレスは、Assurance Sensor LX-S の下部にあります。

## 前面パネル

次の図に、Assurance Sensor LX-S の前面パネルの機能を示します。LED の説明については、[前面パネル LED \(5 ページ\)](#) を参照してください。

図 2: 前面パネル

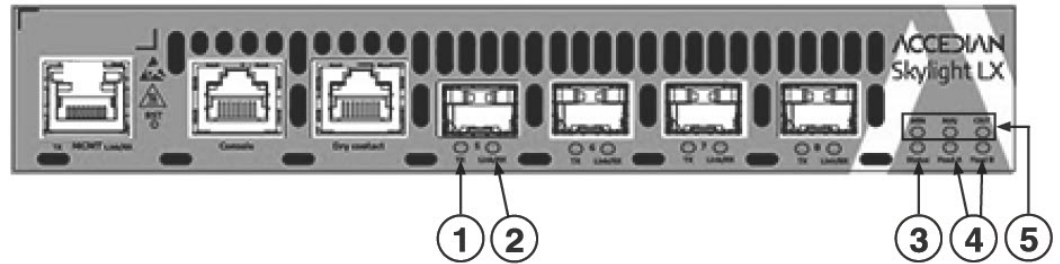


<b>1</b> 管理ポート RJ-45 コネクタ (10M/100M/1GbE) X 1	<b>2</b> RST システムリセットボタン  (注) RST ボタンを 5 秒以上押して、装置を工場出荷時の設定にリセットします。
<b>3</b> コンソールポート RJ-45 コネクタ (RS-232) X 1	<b>4</b> ドライ接点入力 RJ-45 コネクタ X 1 (ドライ接点 X 4) <b>注意</b> ドライ接点インターフェイスは、厳密には安全超低電圧 (SELV) です。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• ピン #1 : アース 1</li> <li>• ピン #2 : ドライ接点 1</li> <li>• ピン #3 : アース 3</li> <li>• ピン #4 : ドライ接点 2</li> <li>• ピン #5 : アース 2</li> <li>• ピン #6 : ドライ接点 3</li> <li>• ピン #7 : アース 4</li> <li>• ピン #8 : ドライ接点 4</li> </ul>
<b>5</b> トラフィックポート 5 ~ 6 SFP+ コネクタ (1G/10GbE) X 2	<b>6</b> トラフィックポート 7 ~ 8 SFP+ コネクタ (1G/10GbE) X 2
<b>7</b> システムの通気口 空気取り入れ口	—

## 前面パネル LED

次の図に、前面パネルの LED を示し、それらの状態について説明します。

図 3: 前面パネルの LED とそれらの状態

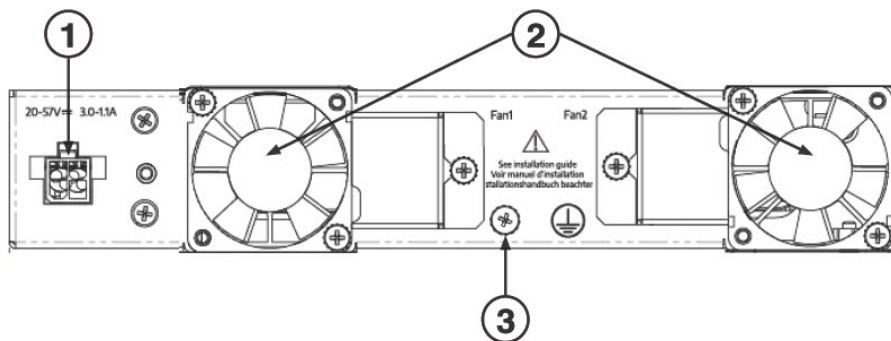


1	<b>TX LED</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ポートはデータを送信していません。</li> <li>緑の点滅：ポートはデータを送信しています。</li> </ul>	2	<b>リンク/RX LED</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：リンクは非アクティブです。</li> <li>緑：リンクはアクティブです。</li> <li>緑の点滅：ポートはデータを受信しています。</li> </ul>
3	<b>STATUS LED</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑：通常動作中です。</li> <li>緑の点滅：装置は起動中です。</li> </ul>	4	<b>PWR LED (フィード A/B)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：デバイスの電源が入っていません。</li> <li>緑：デバイスの電源が入っています。</li> </ul>
5	<b>MIN MAJ CRIT LED</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MIN 黄色：マイナーアラーム条件があります。</li> <li>• MAJ 赤：メジャーアラーム条件があります。</li> <li>• CRIT 赤：重大なアラーム条件があります。</li> </ul>	—	

## 背面パネル

次の図に、Assurance Sensor LX-S の背面パネルを示します。

図 4: 背面パネル



1	DC 電源入力 DC コネクタ X 1 : Molex、43810-0001	2	ホットスワップ可能なファン 熱気の排気口
3	アース ラグ 保護接地点 (ラグタイプ : ネジ #6 X 1)		—

## 電源モジュール

次の表に、Assurance Sensor LX-S で使用される各電源の仕様を示します。

表 3: 電力仕様

説明	仕様
入力電力定格	20 ~ 57 V DC、3.0 ~ 1.1 A 最大
出力電力定格	SFP+ : ポートあたり 2.5 W 最大 SFP : ポートあたり 2.0 W 最大
消費電力	40 W 公称、55 W 最大 (136 BTU/時公称、188 BTU/時最大)

## ハードウェア仕様

次の表に、Assurance Sensor LX-S のハードウェア仕様を示します。

サイズ (高さ X 幅 X 奥行)	20.1 X 3.8 X 26.4 cm (7.9 X 1.5 X 10.4 インチ)
重み	1.7 kg (3.7 ポンド)
温度	動作時 : <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商用時 : 0 ~ 50 °C (32 ~ 122 °F)</li> <li>• 強化時 : -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)</li> </ul> 保管時 : -40 ~ 70 °C (-40 ~ 158 °F)
湿度	動作時 : 5 ~ 85% RH (結露しないこと) 保管時 : 5 ~ 95% RH (結露しないこと)
高度	最大 : 海拔 2,000 m (6,600 フィート)

## 製品 ID 番号

次の表に、Assurance Sensor LX-Sに関連付けられている現場交換可能なPIDを示します。内部コンポーネントに障害が発生した場合は、返品許可 (RMA) を取得する必要があります。詳細については、「[Cisco Returns Portal](#)」を参照してください。

表 4 : Assurance Sensor LX-S PID

PID	説明
SKY-LXS-H-DD	SFP+ X 4 : デュアル DC 電源 : 強化
SKY-LXS-Y-DD	SFP+ X 4 : SyncE : デュアル DC 電源
SKY-LXS-DD	SFP+ X 4 : デュアル DC 電源
SKY-LXS-HY-DD	SFP+ X 4 : SyncE : デュアル DC 電源 : 強化





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。